

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-000112

(43)Date of publication of application : 08.01.1993

(51)Int.Cl.

A47B 96/02

(21)Application number : 03-151488

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

(22)Date of filing : 24.06.1991

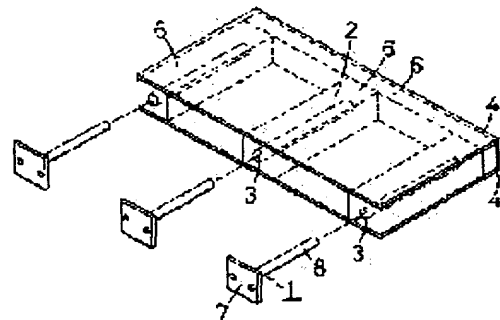
(72)Inventor : FUJII KAZUNORI

(54) SHELF PLATE

(57)Abstract:

PURPOSE: To supply a shelf plate at which no shelf receiver 1 can be seen and which is not necessary to fix to the shelf receiver 1 by screws or the like.

CONSTITUTION: A shelf plate is fitted to a shelf receiver 1 attached on a wall face. Flush grooves are provided and also insertion holes 3 of the shelf receivers 1 are provided at the rear end of the core material 2. The shelf plate is inserted into the shelf receiver 1 to hold it.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-112

(43)公開日 平成5年(1993)1月8日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 7 B 96/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6578-3K

E 6578-3K

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-151488

(22)出願日 平成3年(1991)6月24日

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 藤井 和則

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

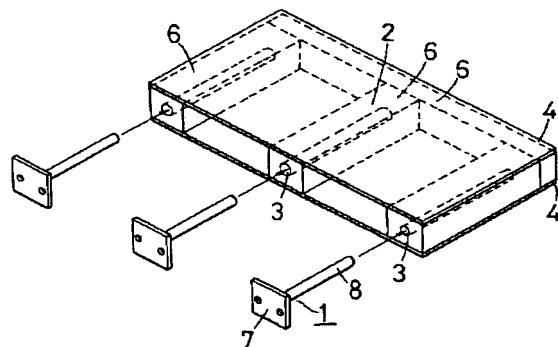
(74)代理人 弁理士 川瀬 幹夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 棚 板

(57)【要約】

【目的】 棚受体1が見えることなく、しかも棚受体1にビス等により固定する必要がない棚板を提供する。

【構成】 壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に棚受体1の挿入孔3を穿設してなるものであり、棚受体1に挿着して保持することができるものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に棚受体1の挿入孔3を穿設してなる棚板。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板に関するものである。

【0002】

【従来の技術】第4図に示すように、壁面に横方向に複数個並設した略L字状の棚受体1に上載し架設してなる棚板が知られている。この棚板においては、フラッシュ構造、一枚板等からなるものであり、ビス等により棚受体1の上面に固定されるものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の技術においては、壁面に設けて様々な収納物を載置し、収納することができるものである。

【0004】しかしながら、この棚板においては、棚受体1を挿入することができる挿入孔3がないものであり、壁面に設けた棚受体1に上載し、ビス等により棚受体1に固定してなるものである。

【0005】このため、この棚板においては、下面側に棚受体1が位置するものであり、下方から棚受体1が見え外観を損なうとともに、下方からの外力による浮き上がり等を防止するために棚受体1へのビス等による固定が不可欠である。

【0006】そこで本発明は、上記従来の技術における問題を解決するために発明されたものであり、すなわちその課題は、棚受体1が見えることなく、しかも棚受体1にビス等により固定する必要がない棚板を提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の棚板においては、壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に棚受体1の挿入孔3を穿設してなるものである。また、フラッシュ構造としては、芯材2の表裏面に化粧板4を設けてなるものであり、後端側を開口してあっても良いものである。また、棚受体1としては、壁面にビス等により固定するもの、壁面に横方向に設けられたレール5に摺動自在に設けるもの等が用いられる。

【0008】

【作用】本発明の棚板においては、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に棚受体1の挿入孔3を穿設してなるものであり、棚受体1に挿着して保持することができるものである。

【0009】

【実施例】以下、本発明を、図面に示した実施例に基づいて詳細に説明する。

2

【0010】第1図の棚板は、本発明の一実施例で、壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に挿入孔3を穿設してなるものである。棚板としては、角材6を略E字状に組んで芯材2を形成し、芯材2の表裏面に化粧板4を接着し、左右両端および中央付近に位置する角材6の後端に円筒状の挿入孔3を穿設してなるものである。この棚板においては、略矩形形状の金属板からなる固定片7の表面側に挿入孔3より僅かに小径の円柱状の支持棒8を突設し、壁面にビス等により固定してなる棚受体1に挿着して保持されるものであり、ビス等により棚受体1に固定することなく保持することができるとともに、棚受体1を下方からも見えなくすることができるものである。

【0011】なお、本発明の棚板においては、第2図に示す実施例の如きであっても良いものである。すなわち、この実施例の棚板は、壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に挿入孔3を穿設してなるものである。棚板としては、角材6を略E字状に組んで芯材2を形成し、芯材2の表裏面に化粧板4を接着し、左右両端に位置する角材6の後端に角状の挿入孔3を穿設してなるものである。この棚板においては、固定片7の表面側に角柱状の支持棒8を突設し、壁面に水平方向に設けられたレール5に摺動自在に設けてなる棚受体1に挿着して保持されるものである。レール5としては、室内側を開放した断面略コ字状に形成されているとともに、開口上端縁が下方に、開口下端縁が上方にそれぞれ延設されているものである。棚受体1としては、レール5の断面形状に対応して断面矩形形状に形成され、かつレール5の長手方向に肉厚に形成された固定片7の表面側中央付近に角柱状の支持棒8が突設されているものである。

【0012】なお、本発明の棚板においては、第3図に示す実施例の如きであっても良いものである。すなわち、この実施例の棚板は、壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に挿入孔3を穿設してなるものである。棚板としては、角材6を矩形形状に組んで芯材2を形成し、芯材2の表裏面に化粧板4を接着し、前後に位置する角材6の後端に円筒状の挿入孔3を穿設してなるものである。この棚板においては、略矩形形状の金属板からなる固定片7の表面側に挿入孔3より僅かに小径の円柱状の支持棒8を突設し、壁面にビス等により固定してなる棚受体1に挿着して保持されるものである。

【0013】

【考案の効果】上述の如く、本発明の棚板においては、フラッシュ構造からなり、芯材2後端に棚受体1の挿入孔3を穿設してなるものであり、棚受体1に挿着して保持することができるため、棚受体1が見えず美しい外観を提供することができるとともに、棚受体1にビス等により固定する必要がなく容易かつ短時間で取り付けらるこ

3

4

とができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である棚板を示す斜視図である。

【図2】本発明の別の実施例である棚板を示す斜視図である。

【図3】本発明の別の実施例である棚板を示す斜視図である。

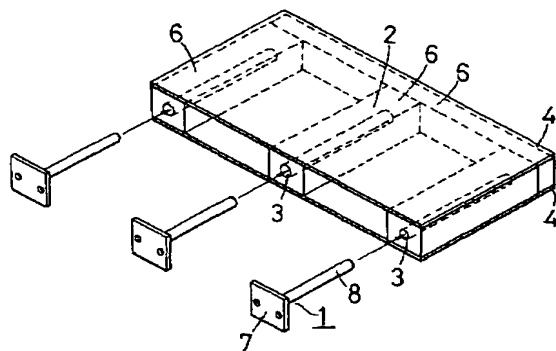
【図4】本発明の従来例である棚板を示す斜視図である。

*【符号の説明】

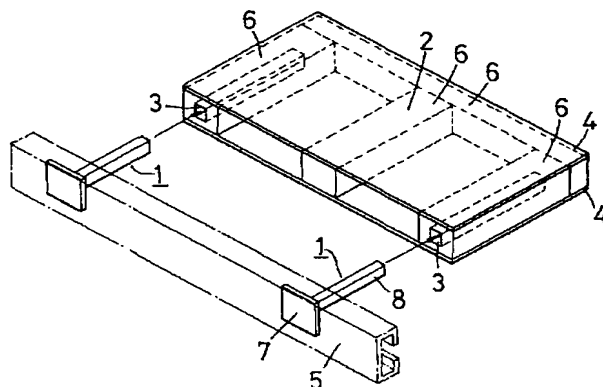
- 1 棚受体
- 2 芯材
- 3 挿入孔
- 4 化粧板
- 5 レール
- 6 角材
- 7 固定片
- 8 支持棒

*10

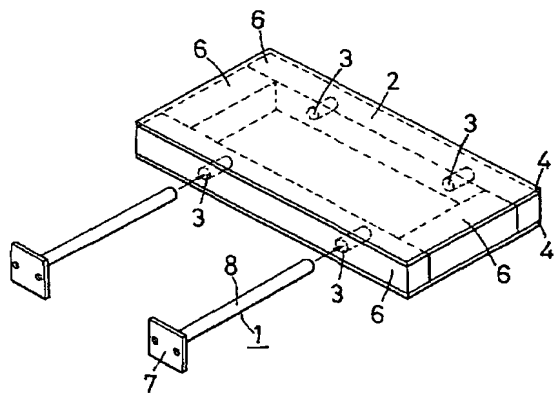
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

